

AAF NEWS

VOL.20

2018
AUTUMN

ご協力いただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

CONTENTS

NEWS

SITE REPORT

ブッダ・スクールの低学年児童に歯磨き指導

TOPICS

生徒用の机と椅子をブッダ・スクールその他の学校に寄贈しました
日本プロジェクトマネジメント協会関西例会でAAFが講演を行いました

INFORMATION

AAF PROFILE

AAF Asian Architecture Friendship



ブッダ・スクールの女子生徒たち

NEWS

フィリムのブッダ・スクールで5棟目の寄宿舎が竣工しました

>次ページに詳細を掲載

NEWS

フィリムのブッダ・スクールで5棟目の寄宿舎が竣工しました

多くの皆様からのご支援により、昨年9月に学校運営委員会との協議で建設を決定したブッダ・スクールの5棟目の寄宿舎が本年9月中旬に竣工しました。7月の時点で屋根の小屋組はほぼ完了していたのですが、雨季に入りフィリムでは入手できない野地板の合板と防水用のシートの運搬に予想以上の時間がかかってしまいました。5棟目の寄宿舎の竣工で、トタンの波板で作った仮設寄宿舎で暮らす生徒たちが全員本設の寄宿舎に入居できるようになりました。

今後の予定は仮設寄宿舎を撤去し、その跡地に女子便所棟を新しく建替え、並行して北側の便所棟を増築して男子便所とする予定です。新設する女子便所棟は、耐震補強と生徒数の増加に伴い便器数を増やした仕様としています。新しく便所が整備された後に壁が崩れたままの現便所棟を撤去することで、2016年1月より着手した震災復興工事はほぼ完了します。

一方で地震では全く被害がなかった4棟目の寄宿舎で雨漏りが発生し、応急処置でシートをかぶせた状態になっています。地震後1年は問題なかったのですが、2年目の雨季に入つてから徐々に雨が漏りだしました。やはり地震の影響で屋根の石や防水シートにズレが生じ、それが時間とともに拡大した可能性があります。乾季の間に屋根材を一度外して修理をする予定をしています。



竣工した5棟目の寄宿舎



5棟目の寄宿舎内部

SITE REPORT

ブッダ・スクールの低学年児童に歯磨き指導

本年5月16日に日本ネパール女性教育協会（JNFEA）の山下泰子理事長がフィリムのブッダ・スクールを訪れ、低学年の児童を対象に歯磨きの指導を実施されました。幼稚園児は誰も歯磨きをしたことなく、チューブの歯磨き粉を食べてしまう子もいたそうです。大きな歯の模型にみんなびっくりしながらも真剣に歯磨きの練習をしました。

JNFEAはカニヤ・キャンパス・ポカラでネパール遠隔地域の女性教師を養成、その卒業生の教育活動の支援やフォローアップ研修などの活動を実施しています。ブッダ・スクールにも現在カニヤ・キャンパスで学んだ3人の女性教師が赴任しています。



壁が崩れた状態のままの現便所棟



シートをかぶせた4棟目の寄宿舎



幼稚園児への歯磨き指導

TOPICS

生徒用の机と椅子をブッダスクールその他の学校に寄贈しました

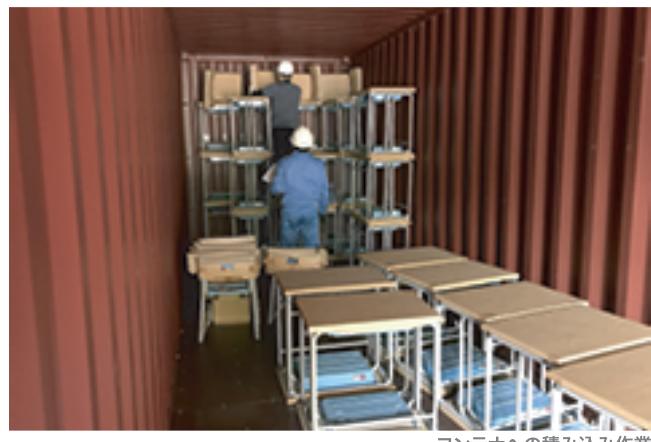
家具・文具の大手メーカーからAAFに寄贈された生徒用の机と椅子626セットをネパールへ輸送しました。

本年4月10日に堺市にある保管場所の倉庫から40フィートのコンテナ2台と20フィートのコンテナ1台に積み込み、4月26日に神戸港から船で出航、約1か月後の5月29日にインドのコルカタに到着。コルカタから陸路ネパールのビルガンジまで運んで通関手続きを行いました。15年前にも260セットの机と椅子を寄贈品として輸送しており、その時は免税許可が得られたため、今回も1年以上前からネパール側には免税を打診していたのですが、何度交渉しても免税も減税も受け入れてもらうことができず、通常の関税が課せられました。その後カトマンズまで運搬し、フィリムのブッダ・スクールに250セット、残りの376セットをゴルカ郡のマンプその他の学校に分配して寄贈しました。

前回輸送した時はAAFも学校側もまったく経験がなかったため、通関にかなりの時間がかかり、日本を出発してからフィリムに到着するまで数か月を要しました。（この時の苦労は「ヒマラヤに学校を建てよう！－建築家のボランティア奮闘記－」という本に詳しく紹介されています。）今回は2回目とあって、日本を出てからは比較的スムーズに進み、約2か月で生徒たちのもとへ届けることができました。日本製の頑丈なスチールフレームと平滑な木製天板の机、座りやすい樹脂製の椅子はネパールでも好評です。



40フィートのコンテナ車



コンテナへの積み込み作業



日本から贈られた机と椅子で勉強する生徒たち

日本プロジェクトマネジメント協会関西例会でAAFが講演を行いました

本年7月13日(金)にAAF副理事長の野田隆史が日本プロジェクトマネジメント協会（PMJA）関西例会で講演を行いました。

プロジェクトマネジメント（PM）とは、プロジェクトをどのように遂行するか計画を立て、プロジェクトの目的を達成することを目指して行われる活動のことです。AAFが電気も電話もなく、車も通れない秘境の地で学校建設のプロジェクトをどのように遂行していくのか、そのプロセスと成果はPMの一つの成功事例と言えるでしょう。

PMJAはPM資格の認定、講習の実施、PMに関する知識の普及に関する事業等を行うことにより、PM実践家の育成と企業・団体および自治体等の経営活動におけるPMの普及を図り、広く公益の増進に寄与することをミッションに活動するNPO法人で、関西例会では毎月第2金曜日に大阪駅前第2ビルの大阪生涯学習センターでPMに関わる講師を招き、講演会やセミナーを実施しています。

昨年9月に東京で開催された「PMシンポジウム2017」でAAFが講演を行ったことをきっかけに、今回関西でもAAFの活動の紹介をさせていただく機会をいただき、アジアの途上国における建設支援プロジェクトの事例として「ヒマラヤの学校建設－学校がない途上国の人たちのために」と題する講演を約1時間半にわたって行いました。



PMJA関西例会での講演

AAF PROFILE

AAF (Asian Architecture Friendship)

2000年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に設立した民間ボランティア団体です。

建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィリムでの学校建設(2003年竣工)を皮切りに、ポカラの女子学生寮の建設支援など、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

設立以来15年間任意団体として活動した後、2015年4月に特定非営利活動法人の認証を取得し、現在に至っています。

AAFの活動と実績

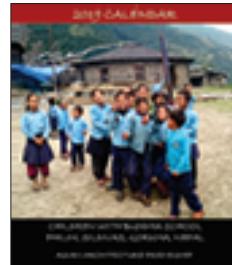
- 1999.10 竹中工務店設計部有志を中心としたメンバーでネパールを視察
- 1999.12 ネパールのヒマラヤ山麓の村、フィリムを調査
- 2000.03 ボランティア団体AAF(Asian Architecture Friendship)を設立、ネパールのフィリムにて学校建設計画をスタート
- 2001.10 草の根無償資金の供与を受け、フィリムの学校が着工
- 2003.04 フィリムの学校 'Buddha Primary&Secondary School (ブッダ・スクール)' 竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう! 建築家のボランティア奮闘記」(彰国社) を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動—ヒマラヤの学校建設—」展を開催(ギャラリーエーケワード/東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤキャンパス・ポカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館) に出品
- 2007.05 日本建築学会賞(業績)受賞
- 2008.08 フィリムのブッダ・スクール、ポカラのさくら寮がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載
- 2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出演
- 2009.05 フィリムの2期工事である寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工
- 2009.10 ブッダ・スクールが第11回国際石材建築賞を受賞
- 2010.03 「ヒマラヤの学校建設その後—AAFのNGO活動展vol.2」を開催(ギャラリーエーケワード/東京)
- 2011.09 UIA2011東京大会第24回世界建築会議にてフィリムの学校プロジェクトを発表
- 2011.12 フィリムに4棟目の寄宿舎が竣工
- 2012.09 フィリムの3期工事(厨房棟)が着工
- 2013.02 厨房棟が竣工
- 2013.12 引き続き教員宿舎が着工
- 2015.02 「ヒマラヤの学校建設15年の軌跡—AAFのNGO活動展vol.3」を開催(ギャラリーエーケワード/東京)
- 2015.04 AAFが特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を取得
- 2015.04 ネパール中部で発生した大地震により、フィリムのブッダ・スクールが被災
寄宿舎3棟と工事中の教員宿舎の壁が崩れ、修復不能な被害を受ける
- 2015.09 ブッダ・スクールの被災状況について現地調査を実施
- 2016.01 地震で被災した寄宿舎の再建工事に着手
- 2016.04 1棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2016.07 自由都市・堺 平和貢献賞受賞
- 2016.07 2棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2017.03 3棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2018.09 フィリムに5棟目の寄宿舎が竣工

INFORMATION

2019年のAAFカレンダーができました

2019年のAAFカレンダーができました。

ご希望の方は1口1000円の寄付+送料(下記参照)をお願いいたします。寄付1口につき、カレンダーを1部お送りさせていただきます。



卓上型・CDケース入り
サイズ12.5cm×14.1cm×0.9cm

>>>申込方法①: AAFの公式サイトのカレンダー申込ページ(下記)からお申込みください

<http://aafjpn.org/contribution/calendar2019/mousikomi>

>>>申込方法②: ゆうちょ銀行払取扱票の通信欄に「カレンダー希望」と記入の上、寄付金(1口1000円)と送料をお振込みください(記入がない場合は通常の寄付扱いとなります)

※送料/1口:200円 2口:250円 3~4口:350円
5~8口:400円 9口以上:550円

AAFの賛助会員を募集しています

AAFの活動は多くの皆さまからのご協力によって成り立っています。

賛助会員制度は活動の主旨にご賛同いただき、継続してご支援いただける方にAAFの賛助会員になっていただき、その会費を支援活動の資金に充当する制度です。賛助会員はAAFの活動における資金ボランティアと位置付けられ、具体的な活動やその他の責任は求められていません。賛助会員になつていただいた方には会報「AAF NEWS」と「AAFカレンダー」をお送りさせていただきます。ぜひとも多くの皆さまの入会をお待ちしております。

>>>入会方法

ゆうちょ銀行払取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振込ください

>>>会費

一般賛助会員: 1口 5,000円(年額)

法人賛助会員: 1口50,000円(年額)

AAFへの郵便振替は下記口座にお願いいたします

>>>口座番号:00910-0-64819

>>>加入者名:AAF基金

※払取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報はAAF基金運用の目的以外で使用いたしません

編集後記

AAF NEWSも不定期ながら20号を迎えました!これからも現地の様子やAAFの活動をご報告していきますので、よろしくお願いします。T